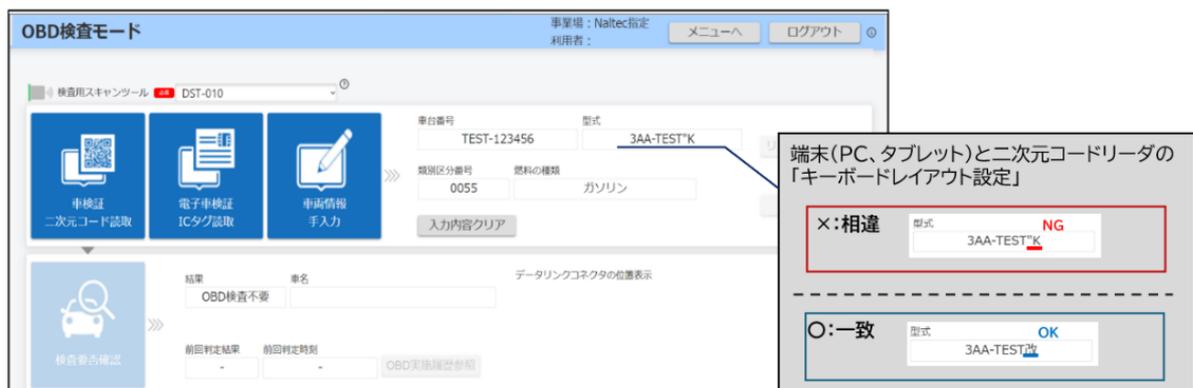


タイトル	OBD 検査対象の改造自動車の車両情報を「二次元コード読取」した際、型式の後ろに記号とアルファベット(例「”K」など)が付され、検査要否確認の結果が「OBD 検査不要」となったが、手入力の場合は、「OBD 検査要」となるときの対処方法
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 端末(PC 又はタブレット)の「キーボードレイアウト設定」が、「英語キーボード(101/102 キー)」となっているなど、二次元コードリーダの設定と相違した状態で、改造自動車(型式に「改」が付された自動車。以下、同じ)の車検証の二次元コードを「二次元コード読取」(読取モード2)により読み取った際に、この事象が発生します。 ・ 端末(PC 又はタブレット)のキーボード設定を「日本語キーボード(106/109 キー)」に変更する必要があります。 ・ 発生する事象と対処方法(「キーボードレイアウト設定」の変更方法)については、下記よりご確認ください。

記

1. 発生する(型式後に記号と英字アルファベット(「”K」など)が付される)事象について

端末(PC 又はタブレット)と二次元コードリーダの「キーボードレイアウト設定」が相違する状態で、改造自動車の車検証を「二次元コード読取」(読取モード2)により、読み取った場合は、以下のように、型式の後ろが「改」でなく「”K」などの記号が表示されます。



! ご注意

- 型式の後ろが「改」でなく「”K」などの記号が付された状態で、「検査要否確認」を行うと、「OBD 検査要」であっても、「OBD 検査不要」となります。



2. 対処方法について

- 1. の事象は、端末(PC 又はタブレット)と二次元コードリーダーの「キーボードレイアウト設定」が相違している場合に発生します。
- 以下、端末(PC 又はタブレット)のキーボード設定の変更方法を説明します。

! ご注意

- 端末(PC 又はタブレット)のキーボード設定を変更した場合、キー入力動作の一部が変わることがあります。
- 企業ネットワーク内で使用している PC の場合は、事業場のシステム管理者(PC 管理者やネットワーク管理者等)にご相談のうえ、これらの操作を行ってください。

(1) [スタート] → [設定] を押してください。

(2) 左メニューにある[時刻と言語]を押し、右メニューの「言語と地域」を押してください。



(3) 右メニューの「日本語」右側の「…」を押し、「言語のオプション」を押してください。



(4) 右メニューを下までスクロールし、「レイアウトを変更する」を押してください。

※「ユーザーアカウント制御 このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示された場合は、内容を確認し「はい」を押してください。



(5) 「ハードウェア キーボード レイアウトの変更」のタグより、設定を確認ください。

×:「英語キーボード(101/102 キー)」に設定されている場合

ハードウェア キーボードレイアウトの変更

ハードウェア キーボード レイアウトの変更

英語キーボード (101/102 キー) ▼

OK キャンセル 今すぐ再起動する



○:「日本語キーボード(106/109 キー)」に設定されている場合 ※正しい設定

ハードウェア キーボードレイアウトの変更

ハードウェア キーボード レイアウトの変更

日本語キーボード (106/109 キー) ▼

OK キャンセル 今すぐ再起動する

(6) 「英語キーボード(101/102 キー)」に設定されていた場合はプルダウンメニューより「日本語キーボード(106/109 キー)」を選択(変更)して、「今すぐ再起動する」を押し、PC を再起動してください。

ハードウェア キーボードレイアウトの変更

ハードウェア キーボード レイアウトの変更

日本語キーボード (106/109 キー) ▼

変更は PC の再起動後に有効になります。

OK キャンセル 今すぐ再起動する

※「日本語キーボード(106/109 キー)」に設定を変更しても、この事象が解消されない場合は、二次元コードリーダが、日本語(全角文字)の読み取りに対応していないことが考えられます。ご使用の二次元コードリーダの取扱説明書をご確認ください。

以上

最終更新日:令和 7 年 3 月 14 日